



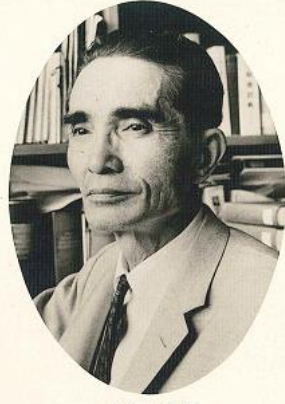
原 教授



右衛門佐教授



島居教授



野沢教授



越田助手

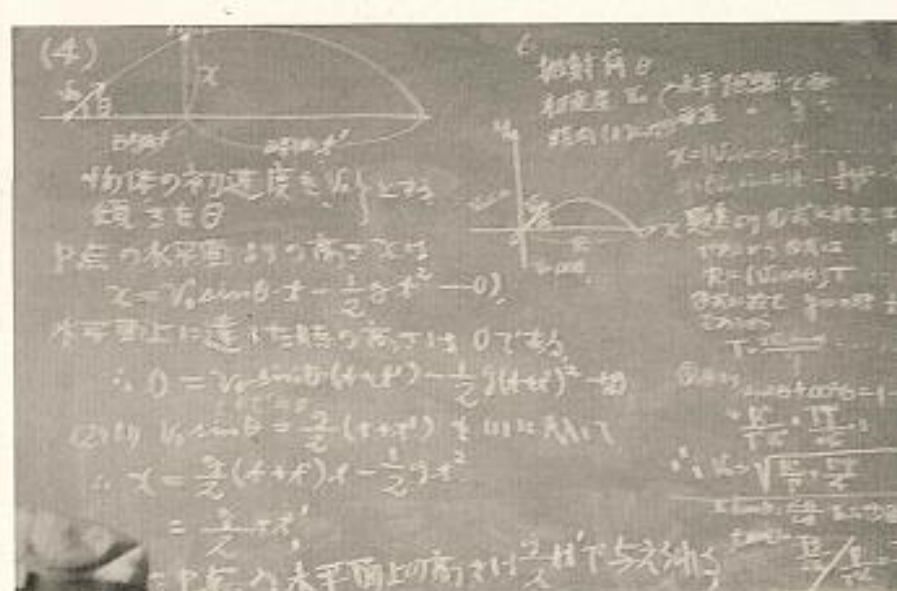


高島助教授

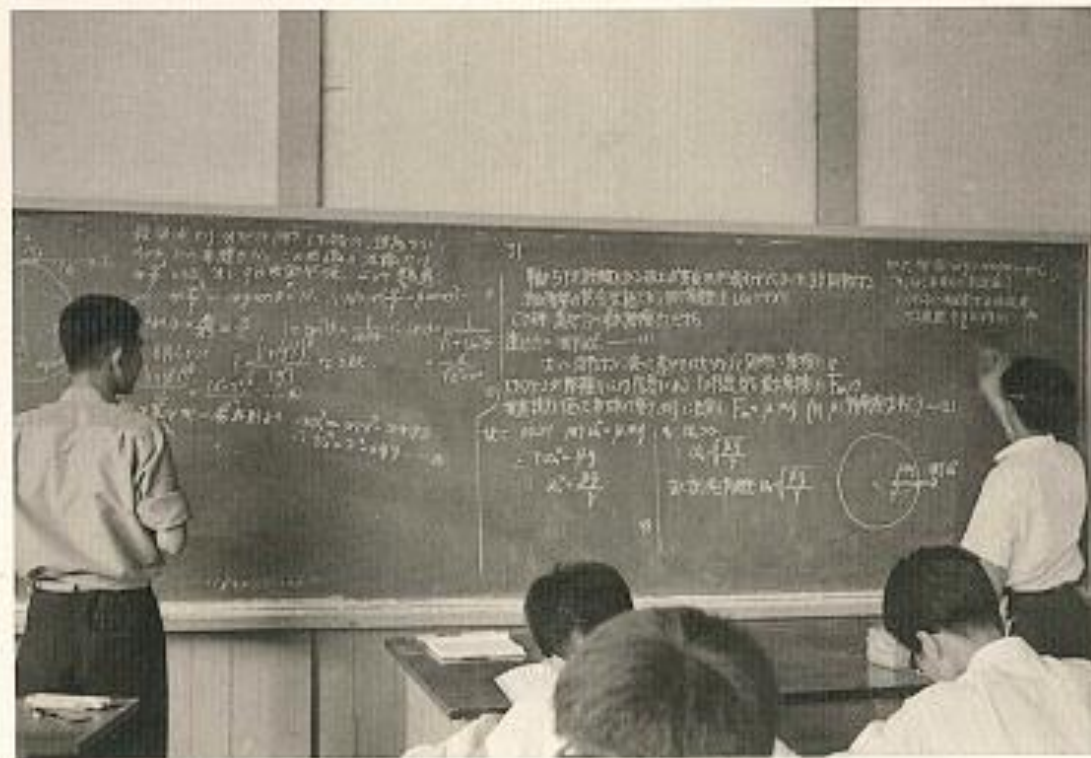


田中助教授

進学課程 小房校舎

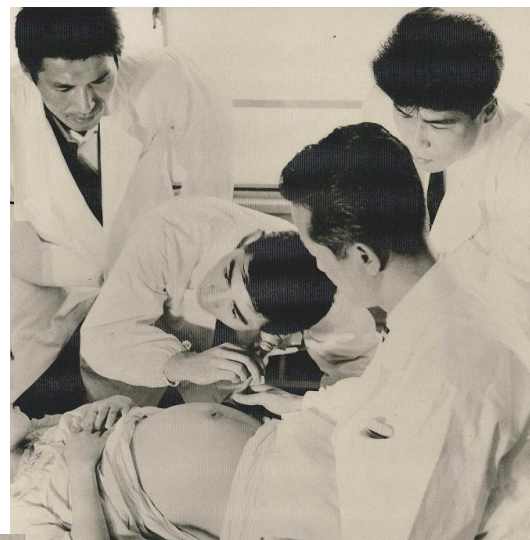


学びの日々



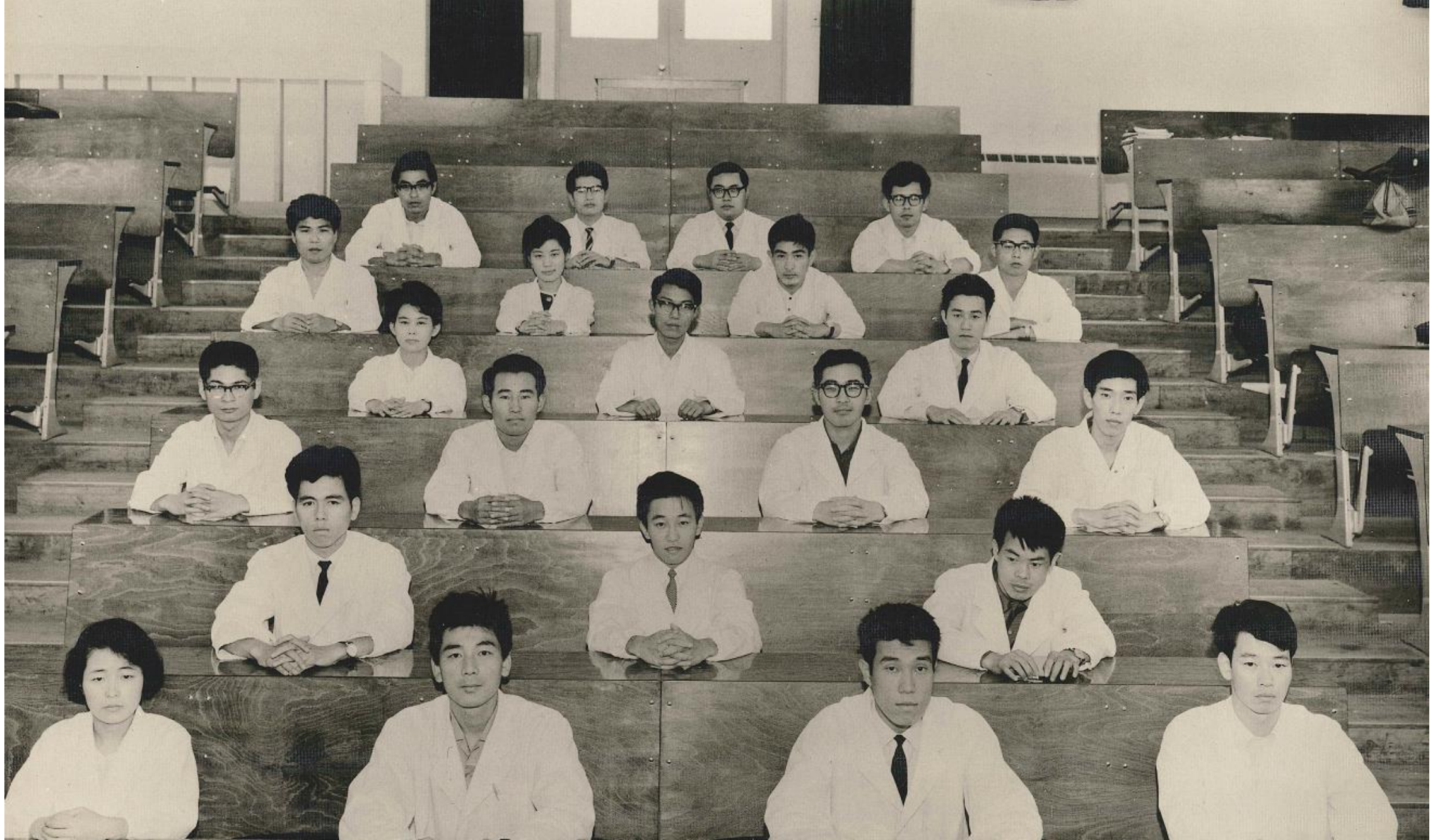


衛生学
妻鹿教授



産婦人科
前山教授





昭和 42 年卒業生 第二臨床講堂





編集後記

ふり返って見れば6年という歳月は誠に早いものです。とは云え、この短い6年間で、一冊のアルバムに集約することなど、出来るものではありません。想い出、それは誰もが持っています。いつまでも消えることのない純粋なまの想い出もあるでしょう。早く消えてしまつて欲しいと希う罷まみれの想い出もあるでしょう。20年、30年先になつて、過ぎ去つた青春の日々の憧憬を、いつでも、どこにいても、心に描くことが出来るよう、その時にこそ、このアルバムを開いて頂きたいものです。あの頃共に学んだ友の笑顔、あの日共に涙して語り合つたあこがれ、あの時共に励まし合い誓ひ合つた希望、それらをいつまでも私達の心の中に生かし続けて行つて欲しいと希います。最後に終始御指導いただいた写真家松井一之氏に感謝致します。

アルバム委員

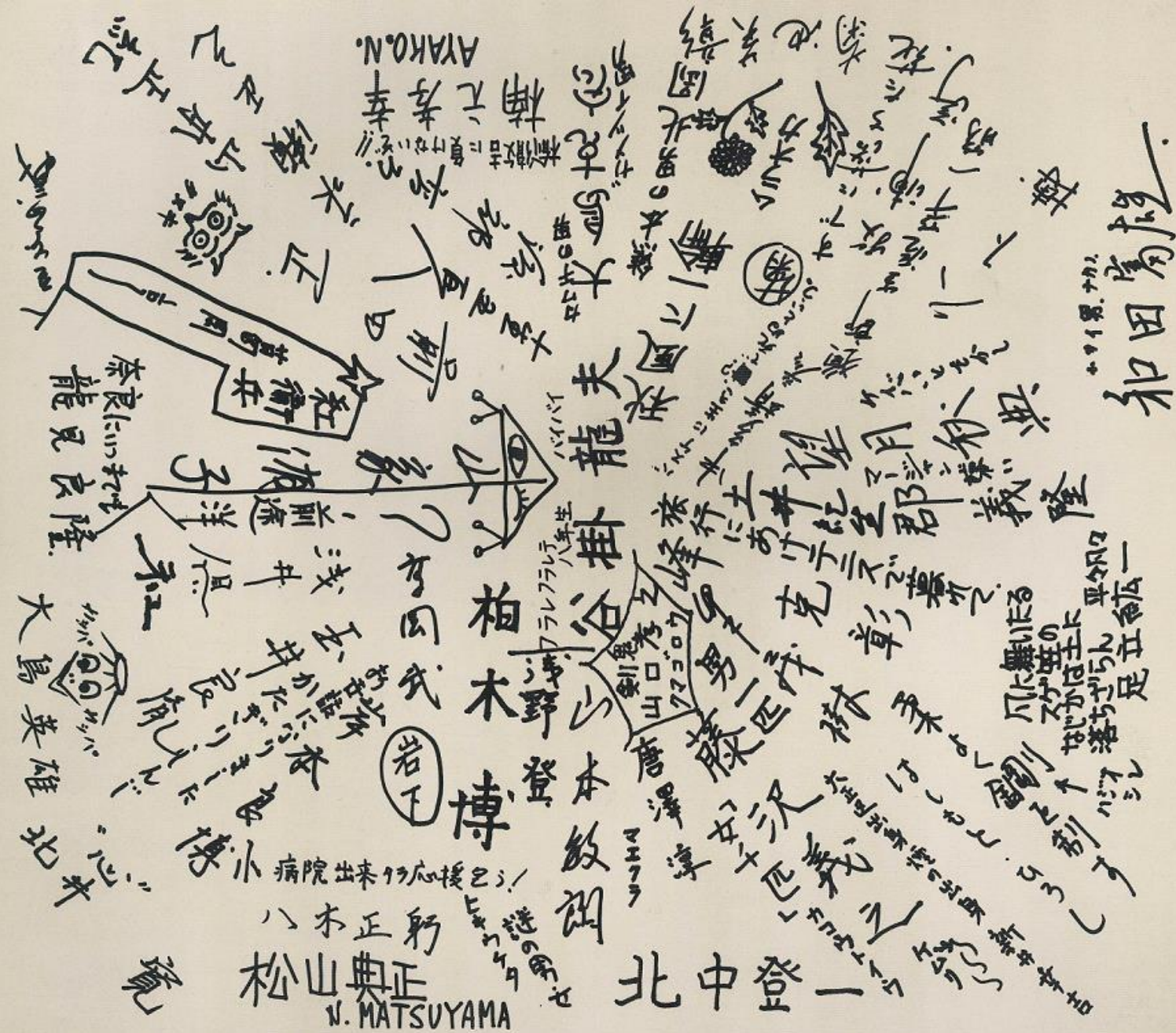
浅野 登
唐沢 淳
岸本 良博
郎 義隆

高岡 武
山家 祐子
山本 正紀



昭和42年卒業
アルバムより

母校からの巣立ち



学 歌

一、狭霧は晴る、大和路の
みやびの都榎原に
偉容を誇る学舎は
あ、刀主の粋あつむ
われらが母校、

奈良医大

二、いざゆけ朋よ手を取りて
杏林深くわけいらば
理想のかなた天遠く
あ、かの高嶺やきわむべし
かがやく母校、

奈良医大

三、蛍雪いまや功なりて
一キにわれらとたび起ち
国手の使命世にささぐ
あ、青春のいき高く、
はえある母校、

奈良医大

